

第32回九州本部定期大会開催

8月25日に博多で第32回九州本部大会が開催され、地区本部から代表として、黒木副委員長・丸山執行委員が、地区本部を代表し、原村委員長・千代森書記長・福田委員・車掌協議会代表で西原執行委員が参加しました。

大会は内田副委員長の開会の挨拶で始まり、議長に博多地区本部の萩原代議員を選出し議事を進行した。

はじめに、真子委員長から「政治状況は厳しいが、憲法を守り、労働法制改悪をさせない闘いを進める。もの言う組合として、JRの安全・安定輸送の確立、55歳以上の賃金の見直し、効率化への取組を進めよう。組織拡大に全力をあげよう。結果として70周年を迎えた、闘いの歴史を教訓に粘り強く闘おう。」と挨拶がされた。

来賓7名の皆様の挨拶を頂き議事に入り、2015年度経過を古賀業務部長が、2016年度方針を千々岩書記長から提起され、6人の質疑の後、承認され1年の方針を確立した。



発言する香田代議員



真子委員長挨拶

＊＊大会発言＊＊

★長崎地区本部

神近代議員

・被爆者慰霊祭の取組について
・雪害時通勤対応交渉について
・事務所運営についての要請

★佐賀地区本部

西村代議員

・今季レール点検について
・超勤問題について
・組織交流会の開催について

★博多地区本部

原田代議員

・駅委託化・無人化の問題点について
・新幹線ホーム要員について
・株式上場について

★北九州地区本部

糸山代議員

・効率化について
・上場後の取組について
・署名の取り組みについて

★博多地区本部

香田代議員

・情報の重要性について
・若者の実態と意識を考えた
・教宣の必要性

千々岩書記長集約

最初に、JR九州の株式上場についてであります。10月に上場する見込みとなっております。しかし、組合員の皆さん、株式上場は不安ではないでしょうか。私達の基幹産業の鉄道事業は赤字であります。

また、株式上場により私たちの労働条件全体としては厳しくなることが予想される。そして、委託・無人化・ワンマン運転の拡大等々の要員削減によって安全が、安心して利用できるサービスが、低下しないように注視をしていく必要があります。

2017年春闘と労働条件改善の取り組みについてです。今春闘では賃金の引き上げと同時にJRの安全・安定輸送の取り組み、地域共闘の取り組み、戦法の廃止と平和と民主主義の闘い、均等待遇、労働条件改善の取り組みと組織拡大と結合した取り組みが必要になると考えます。

安全・安定輸送の確立の根幹である技術継承、労働条件、教育の充実を求めつつ「安全総点検」「仕事総点検」運動を職場に定着させ、職場の要求と政策実現に全力をあげることが求められています。

今年下期の効率化施策では日豊線の大幅な宮崎空港間の切り込み、4両ワンマン化などすべての業種にかかわる効率化、業務見直し、要員配置、駅の委託化等々を更に進めようとしていきます。私たちは、安全を大前提とした厳しい目線で職場から点検を強化をしなければなりません。

組織強化・拡大と職場活動の活性化についてです。1月5日博多車掌区と7月1日長崎メンテにおいて合計2名の組織拡大ができました。

日本国憲法と民主主義が重大な危機に瀕しているだけに、反戦・平和・護憲・人権・民主主義擁護の基本的観点から、全組合員・家族が奮闘し、勤労者・国民が安心して働き、暮らせる政治を実現させる立場から取り組みを強化しなければなりません。

国労組織の年齢構成を考えたとき、これまでの運動、活動スタイルを大胆に転換するほどの議論を行い、大きく広げる必要があると考えます。

九州本部も共に戦い抜くことを約束して集約とします。

若い力月2回発行が50号を突破しました。若い力の後押しをするためにホームページ開設も行ってきた所です。この取り組みを全体のものとして共有していくことが必要と考えます。

九州本部を先頭に、全機関が全組合員参加での集中したオルグ活動を展開する体制を作り出していかなくてはなりません。2017年春闘と労働条件改善の取り組みについてです。

集約する千々岩書記長



◆文書は、概略・省略です、詳しくは九州本部情報を参照されたい

発言する黒木副委員長



鹿児島県の黒木です。私からは、乗務員の勤務制度と特急4両ワンマンについて発言したいと思います。

乗務員勤務制度が昨年改悪されました。具体的改悪点は省きますが、7時間7分の時短と言いつつ、作業時分の短縮・廃止、労働時間Bの削減により実労働時間は大幅に長くなったのが実態です。

列車が遅れれば4〜5時間の連続乗務となる行路となり、食事・休養時間が取れず、心身的にも疲労が蓄積し、多くの不満が職場では出ています。

九州労組の大会でも、改正に対する不満が多く出されたと聞きます。

乗務員が今後安心して、安全に退職するまで働き続けるためには、改正前に戻すか、改正前より良くするかしかない、そのためには、今後明確な方針のもと、具体的取組みをどう進めていくかを明らかにして頂きたいと思っています。

私見ですが、今秋の労働条件改善や協約に、乗務員の勤務に関する項目が、改善の勤務12項、賃金22項の③④の触れられています。乗務員の勤務制度全般にわたった要求の提出がでなかったのかと思います。

日程、要求の方法等でできないとするなら、乗務員勤務制度に絞った（勤務制度改善の取組み）要求の提出と交渉という取組みを検討して頂くことを求めたいと思います。

2点目は、大分〜宮崎空港の特急4両ワンマン化です。昨年は提案がされませんでした。今年も効率化の計画に入っています。

国労として、「お客様の安全の確保とサービスの確保が出来ない、運転士への労働強化となる、車掌の人員削減となる」として反対の姿勢を明確にする。とともに今回実施されれば、全九州で実施されることも、全体で確認する必要があると思います。

今回提案されれば、会社は、多分、車掌の特別改札乗務で乗り切ろうと考えていると思います。また乗務区間も大分〜佐伯、延岡〜宮崎空港を考えているかもしれません。

特別改札で雇用で守るとしても、認めることは出来ません。特別改札を今回つけたとしても、次回以降は「乗降人が少ないで」外される可能性がありま。特別改札は絶対しなければなら。いものではないからです。我々としては、雇用の確保は最重要課題です、その場限りではない長期的立場から職場と雇用を守っていくことが必要だと思。います。そこを強く他労組も含め広く訴えていく事が重要だと考えます。

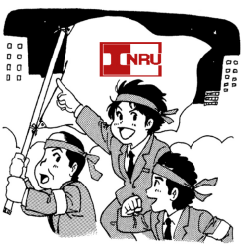
その立場から、提案はされていますが、私からの要望です、1点目は、国労として、今提案内容は、安全・雇用・労働条件を守る立場から、提案を受けられないという強い姿勢をもち、それを訴える取組みをお願いします。

2点目は、国交省・運輸局に対して組合から問題点をあげ申入れをする取組みはできないか。3点目は、国労の強い姿勢を訴えるためのチラシ等教宣の実施と強化。4点目は、ストを含めた闘いをどう構築していくかの検討をお願いしたいと思います。

JR発足以降、発言した2点以外にも駅の無人化など多くの効率化が進められ、労働条件も切り下げられました。年配者には、退職するまで安心して働き続けられる条件を、若手社員には将来に展望が開ける条件を今こそ勝取っていかねければならない時期となっていると思います。

結成70周年になりますが、私たち国労の運動は、労働者の立場に立ち、組合員に依拠し、職場闘争（権利闘争）、地域闘争（民主化・共闘）政治闘争を三位一体とした闘いを進めてきて幾多の苦しい闘いを乗り越えてきたこと、そこが会社内の他労働組合との違いであることを再度全組合員が確認しましょう。

確かに、私含めて、やりきっていないことは多くありますが、出来ないであきらめるのではなく、やりきっていくという気持ちをもつこと、それを一つ一つ行っていくために議論し行動に結び付けることを、今大会を通じて確認し、全員で職場、分会で実践をすることが強く求められていていることを訴え発言とします。国労運動に自信と誇りを持ち共に頑張ります。



第20回地区本部定期大会を開催します

2016年10月15日(土)

10時〜 武公民館



組合員は勤務手配をし全員参加体制を
大会終了後退職者送別会を行います

調査部より

2016年度賃金実態調査票については、各分会が集約し、地区本部に9月15日まで提出してください。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金
※別名簿

生きるためのがん保険 Days

女性特有のがんにも
手厚い

生きるためのがん保険

アフラック
最新のがん保険
新登場。

はじめてダック

（有）愛保険会社

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）
東京第二法人営業部
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F
TEL.03-3344-1425 FAX.03-3344-4036